

石岡市複合文化施設（市民ホール）基本設計業務委託提案書 評価基準

1 目的

この評価基準は「石岡市複合文化施設（市民ホール）基本設計業務委託プロポーザル評価委員会」（以下、「評価委員会」という）が、優先交渉権者を選定するための公募型プロポーザルにおける選定方法および評価基準を示すことを目的とする。

2 選定方法

以下の手順による２段階審査とする。

(1) 第１次審査（書類審査）

- ・ 評価委員会は、参加資格を満たしたすべての者の提出書類を、本評価基準に基づき審査する。
- ・ 各評価委員により得点化された評価点の合計が最も高い提案から上位５者を選考する。
- ・ 上位５者の内、得点率が６０％に満たない参加事業者がいる場合、得点率６０％以上の者のみを選考する。
- ・ 同点等により上位の者を５者に特定できない場合、６者以上を選考することがある。
- ・ 参加事業者が５者に満たない場合、すべての参加事業者を選考することがある。
- ・ 第１次審査の結果は、第１次審査を受けたすべての参加事業者に通知する。

(2) 第２次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

- ・ 第１次審査によって選考された参加事業者を対象に、非公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを行う。
- ・ プレゼンテーションへの出席者はPC操作者を含めて５名以下とし、説明は統括責任者又は主任技術者（資格者）が行うこととする。
- ・ プレゼンテーションで用いるPCは参加事業者が持参し、プロジェクター、スクリーンは本市で用意したものを使用することとする。
- ・ 評価委員会は、プレゼンテーション及びヒアリング結果を、本評価基準に基づき審査する。
- ・ 各評価委員により得点化された評価点の合計が高い者から順位付けを行い、最も点数が高い者を優先交渉権者とする。
- ・ 第２次審査においては、第１次審査の得点は加味しない。
- ・ 最も点数が高い者が２者以上の場合、評価項目における重点項目についてのみ合計し、その範囲において得点の合計が最も高い者を優先交渉権者とする。なお、この場合においても最も点数が高い者が２者以上の場合、評価委員会の合議による優劣の比較を行い、優先交渉権者を決定する。
- ・ 評価委員会の合計点数が、満点のうち６割に満たない者は優先交渉権者として決定しない。
- ・ 第２次審査の結果は、第２次審査を受けたすべての参加事業者に通知する。

3 評価基準

審査	評価項目	評価の着眼点	配点 (委員毎)		
第1次審査	事業者の実務実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度以降に受託し、適切に履行、完了した同種の業務実績の件数に応じて評価する。 <同種の業務実績> 客席500席以上のホール機能を有する施設の新設に係る設計業務	10		
	業務の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 業務の実施にあたり、配置する各技術者について、保有資格に応じて評価する。 	主任担当技術者	総合	6
				構造	2
				電気	2
				機械	2
		<ul style="list-style-type: none"> 業務の実施にあたり、配置する各技術者について、平成22年度以降に受託し、適切に履行、完了した同種の業務実績、および当該業務における立場に応じて評価する。 <同種の業務実績> 客席500席以上のホール機能を有する施設の新設に係る設計業務	管理技術者		6
			主任担当技術者	総合	6
				構造	2
				電気	2
	機械	2			
業務の実施方針 実施手法	<ul style="list-style-type: none"> 石岡市複合文化施設（市民ホール）整備基本計画を十分に理解し、コンセプトをどのように実現するか。の視点や考え方が具体的に示されているか。 		30		
	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知見に基づく独創的な成果や、業務遂行能力が期待できるか。 		30		
	計		100		

審査	評価項目	評価の着眼点	配点 (委員毎)
第2次審査	業務への理解 【重点項目】	・業務内容、業務背景、手続きへの理解が高く、事業に対する積極性が見られるか。	20
	業務の提案内容 【重点項目】	・供用開始後を見据え、将来に渡り、多様な使い方ができるような工夫や考え方が示されているか。	30
		・イニシャルコスト、ランニングコストの縮減に関する具体的な考え方が示されているか。	30
		・業務遂行のポイントや想定される課題の抽出がなされ、的確性、実現性が期待できるか。	30
	説明・質疑応答	・提案内容の説明及び質問に対する応答に、業務に対する知見の深さ、専門性があるか。	20
	その他	・評価の視点以外にも独自性、独創性に優れた視点を持っているか。	20
	計		150

4 採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	標準	配点×0.6
D	やや劣る	配点×0.4
E	劣る	配点×0

※ただし、「業務の実施体制」については採点基準に依らず、以下の資格評価表に即して算出する。

● 資格評価表（配置予定者の保有資格）

業務分野	評価する技術者資格
総合・構造	①一級建築士 ②二級建築士 ③その他の資格
電気	①建築設備士、技術士、一級建築士 ②1級電気工事施工管理技士 ③2級電気工事施工管理技士、その他の資格
機械	①建築設備士、技術士、一級建築士 ②1級管工事施工管理技士 ③2級管工事施工管理技士、その他の資格
評価	採点
①	配点×1.0
②	配点×0.7
③	配点×0.5

※「その他の資格」とは、当該分野における技術者資格とする。

● 実績評価表（配置予定者の同種業務実績、立場）

業務分野	評価基準	採点
管理技術者	評価基準に明記された同種業務について、管理技術者として携わった実績がある。	配点×1.0
	評価基準に明記された同種業務について、主任担当技術者として携わった実績がある。	配点×0.6
	評価基準に明記された同種業務について、担当技術者として携わった実績がある。	配点×0.4
	評価基準に明記された同種業務について、実績がない。	配点×0
主任担当技術者	評価基準に明記された同種業務について、管理技術者として携わった実績がある。	配点×1.0
	評価基準に明記された同種業務について、主任担当技術者として携わった実績がある。	配点×1.0
	評価基準に明記された同種業務について、担当技術者として携わった実績がある。	配点×0.5
	評価基準に明記された同種業務について、実績がない。	配点×0

5 評価の視点

第1次審査

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
事業者の実務実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度以降に受託し、適切に履行、完了した同種の業務実績の件数に応じて評価する。 <同種の業務実績> 客席 500 席以上のホール機能を有する施設の新設に係る設計業務 	3 件以上	2 件	1 件		
業務の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 資格評価表、実績評価表に依る。 	-	-	-	-	-
業務の実施方針 実施手法	<ul style="list-style-type: none"> 石岡市複合文化施設（市民ホール）整備基本計画を十分に理解し、コンセプトをどのように実現するか視点や考え方が具体的に示されているか。 	全てのコンセプトに対して、実現に向けた視点や考え方が具体的に示されている	複数のコンセプトに対して、実現に向けた視点や考え方が具体的に示されている	単一のコンセプトに対して、実現に向けた視点や考え方が具体的に示されている	コンセプトに対して、実現に向けた視点や考え方が抽象的に示されている	コンセプトに対して、実現に向けた視点や考え方が示されていない
	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知見に基づく独創的な成果や、業務遂行能力が期待できるか。 	有益と認められる具体的かつ独創的な取組実績が複数あり、業務に対する全社的なバックアップ手法や業務完了後も見据えた実施体制となっている	Cに比べて優れている	有益と認められる具体的な取組実績があり、業務完了後も見据えた実施体制となっている	Cに比べてやや劣る	有益と認められる取組実績がなく、具体的な実施体制が示されていない

第2次審査

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務への理解 【重点項目】	・業務内容、業務背景、手続きへの理解が高く、事業に対する積極性が見られるか。	仕様書や整備基本計画、諸手続きについて十分な理解が伺え、積極性を感じる提案内容である	Cに比べて優れている	仕様書や整備基本計画、諸手続きについて理解が伺える	Cに比べてやや劣る	仕様書や整備基本計画、諸手続きについて理解が伺えない
業務の提案内容 【重点項目】	・供用開始後を見据え、将来に渡り、多様な使い方ができるような工夫や考え方が示されているか。	基本方針を踏まえた柔軟な運用に対して、将来の予測も加味した具体的かつ客観的な考え方や方針が複数示されている	Cに比べて優れている	基本方針を踏まえた柔軟な運用に対して、具体的な考え方や方針が示されている	Cに比べてやや劣る	基本方針を踏まえた柔軟な運用に対して、考え方や方針が示されていない
	・イニシャルコスト、ランニングコストの縮減に関する具体的な考え方が示されているか。	設計・施工・運用期間を通じたコスト縮減に有効な手法が示され、加えて激しい市場変動下での有効なコスト抑制手法等の具体的な提案がある	Cに比べて優れている	設計・施工・運用期間を通じたコスト縮減に有効な手法が示されている	Cに比べてやや劣る	設計・施工・運用期間を通じたコスト縮減に有効な手法が示されていない

<p>業務の 提案内容 【重点項目】 (上段の続き)</p>	<p>・業務遂行のポイントや想定される課題の抽出がなされ、的確性、実現性が期待できるか。</p>	<p>設定した課題およびその解決方針が複数提案され、いずれも高い専門性と的確性があり、業務に対する実現性が十分に期待できる</p>	<p>Cに比べて優れている</p>	<p>設定した課題およびその解決方針に的確性があり、業務に対する実現性が期待できる</p>	<p>Cに比べてやや劣る</p>	<p>設定した課題、その解決方針に的確性が乏しく、業務に対する実現性が期待できない</p>
<p>説明・ 質疑応答</p>	<p>・提案内容の説明及び質問に対する応答に、業務に対する知見の深さ、専門性があるか。</p>	<p>要点良く適切な説明、質疑応答がなされ、業務に対する深い知見、専門性が見込まれる</p>	<p>Cに比べて優れている</p>	<p>適切な説明、質疑応答がなされ、業務に対する知見、専門性が見込まれる</p>	<p>Cに比べてやや劣る</p>	<p>適切な説明、質疑応答がなされておらず、業務に対する知見、専門性が乏しい</p>
<p>その他</p>	<p>・評価の視点以外にも独自性、独創性に優れた視点を持っているか。</p>	<p>提案内容に、評価項目以外の突出した優位性や独自性、独創性が感じられる</p>	<p>Cに比べて優れている</p>	<p>提案内容に、評価項目以外の独自性、独創性が感じられる</p>	<p>Cに比べてやや劣る</p>	<p>提案内容に、評価項目以外独自性、独創性が感じられない</p>